

7月15日（水） 防災訓練



近い将来発生が予想されている南海トラフ大地震をはじめ、発生予想が不可能な活断層地震を想定し、震度5強以上の猛烈な揺れへの対応と、収束後の迅速な避難を行いました。

災害時、校舎及びその周辺には数多くの危険な箇所が発生すると考えられます。危険な箇所が発生したとしても、安全に避難場所へ避難できるよう、避難経路を確認させながら訓練を実施しました。

訓練後には、地元消防署の方に防災に関する講話をしていただきました。講話では、災害時の行動や備えの大切さ、近年の災害事例などについて詳しくお話いただき、生徒たちも真剣な表情で耳を傾けていました。生徒たちにとって、自分自身や周囲の命を守る行動について考える貴重な機会となりました。

統計的に見れば近い将来に地震が発生する可能性は低いものの、いつ起こってもいいように備えなければなりません。今後も、防災への意識を高める取り組みを継続してまいります。